

# 埼玉県内市町村の令和6年度 森林環境譲与税取組事例集

埼玉県山とまちをつなぐサポートセンター  
(埼玉県農林部森づくり課まとめ)

## 森林環境譲与税を活用した県内市町村の令和6年度取組事例 目次

ページ 番号	市町村名	取組内容	森林整備	人材育成	木材利用・普及啓発	自治体間連携
1	川越市	ナラ枯れ防除対策支援補助金	○			
2	川越市	ナラ枯れ木対策事業	○			
3	所沢市	ナラ枯木伐採処理事業	○			
4	所沢市	ナラ枯れ被害木等伐採及び植樹補助事業	○			
5	飯能市	生活対策森林伐採事業補助金交付の実施	○			
6	入間市	危険木伐採業務委託	○			
7	鶴ヶ島市	市民の森整備事業	○			
8	日高市	ふるさとの森第2号地（高指山）の間伐	○			
9	ふじみ野市	大井弁天の森の保全	○			
10	三芳町	平地林再生事業	○			
11	毛呂山町	森林所有者意向調査	○			
12	毛呂山町	林道維持管理業務委託	○			
13	朝霞市	城山公園の枯損木伐採	○			
14	上尾市	ふれあいの森整備事業	○			
15	新座市	森林病虫害対策（ナラ枯れ）	○			
16	新座市	萌芽更新業務委託	○			
17	秩父市	里山整備への支援	○			
18	皆野町	インフラ施設周辺森林整備事業	○			
19	小鹿野町	森林境界保全素図の作成	○			
20	東松山市	斜面緑地の間伐管理	○			

## 森林環境譲与税を活用した県内市町村の令和6年度取組事例 目次

ページ 番号	市町村名	取組内容	森林整備	人材育成	木材利用・普及啓発	自治体間連携
20	東松山市	斜面緑地の間伐管理	○			
21	深谷市	鐘撞堂山ふるさとの森森林整備事業	○			
22	滑川町	伊古の里建設推進事業	○			
23	嵐山町	風倒被害防止事業	○			
24	小川町	除間伐等の森林整備への支援	○			
25	東秩父村	森林の経営管理に関する意向調査	○			
27	神川町	民有林の整備	○			
28	寄居町	ナラ枯れ被害緊急対策事業	○			
29	北本市	ナラ枯れ等対策	○			
30	川口市	市有保全緑地の整備	○			
31	横瀬町	林業の担い手育成事業		○		
32	川越市	公共施設への木材利用			○	
33	川越市	親子で学ぶ森林環境ツアー			○	
34	川越市	公立保育所の木質整備			○	
35	川越市	市学童保育室施設への木質整備			○	
36	鶴ヶ島市	生ごみ処理器キエーコの販売等			○	
37	ふじみ野市	学校施設等の内装木質化			○	
38	蓮田市	公共施設の木質化			○	
39	吉川市	森林・林業・木材普及活動等			○	
40	羽生市	木造公共建築物の整備等			○	

## 森林環境譲与税を活用した県内市町村の令和6年度取組事例 目次

ページ 番号	市町村名	取組内容	森林整備	人材育成	木材利用・普及啓発	自治体間連携
41	越谷市	こしがやSDGsパートナーへの木製ピンバッジの交付等			○	
42	越谷市	民間が主催するイベントを活用した普及啓発活動			○	
43	越谷市	非電動型生ごみ処理器「越谷キエーロ」による生ごみ減量啓発			○	
44	越谷市	花田第六公園（花田苑）の木橋更新			○	
45	越谷市	埼玉県産木材の知育教材を活用した木育教育			○	
46	越谷市	保育所の備品購入			○	
47	加須市	公共施設等への木材利用			○	
48	久喜市	公共施設への木製棚等の設置			○	
49	鴻巣市	公共施設の木質化による木材利用の促進			○	
50	三郷市	都市公園への木製遊具設置			○	
51	三郷市	公立保育所への木製遊具設置			○	
52	草加市	吉町五丁目市民緑地整備			○	
53	本庄市	森林・林業体験運営業務			○	
54	小川町	誕生祝品贈呈事業			○	
55	川島町	小学校の木質化			○	
56	鳩山町	石坂の森ログテーブル設置工事			○	
57	上里町	県産木材を活用した食器セット・多機能椅子を贈呈			○	
58	桶川市	公共施設の木質化による木材利用の促進			○	
59	さいたま市×飯能市ほか	山間部自治体との市内イベントへの協働出展				○
60	伊奈町×横瀬町	横瀬町有林「南沢」の間伐委託作業				○
61	越谷市×小鹿野町	県内マッチングによる森林整備				○
62	蕨市×群馬県片品村	カーボンオフセット事業				○
63	富士見市×ときがわ町	勝負平町有林状況調査業務委託				○
64	川口市×長野県立科町	長野県立科町との連携				○

➤ 川越市では、近年、ナラ枯れ木が確認され、ナラ枯れ被害が増加していることが課題となっていたので、令和6年度からナラ枯れ防除対策支援補助金を施行した。

## □ 事業内容

### ナラ枯れ防除対策支援補助金の概要

- ・ カシノナガキクイクイムシが媒介するナラ菌により引き起こされるナラ枯れ被害を防止し、森林法第5条に基づき、川越市森林整備計画に位置づけのある森林の保全及び世界農業遺産武蔵野落ち葉堆肥農法推進協議会が認定する実践農業者の営農環境を保全することを目的とする。
- ・ 補助金額及び限度額は、補助対象経費に2分の1を乗じて得た額とし、20万円を超えない額、かつ予算の範囲内。

【事業費】 1,400千円（全額譲与税）

【実績】 補助申請件数 7件

## □ 取組の背景

・ 川越市では、令和2年度ぐらいからナラ枯れ木が確認され、令和4年度もナラ枯れ被害が増加していることが課題となっていたので、川越市内の森林法第5条森林を所有又は管理する者、世界農業遺産武蔵野の落ち葉堆肥農法推進協議会が認定する川越市内の実践農業者を対象に、令和5年度に補助金要綱をつくり、令和6年度から施行した。

## □ 工夫・留意した点

- ・ ナラ枯れ木の早期発見により、倒木し被害が発生する前に対応を行うことができた。
- ・ 山林所有者の伐採処分費用の一部を補助したことにより、費用の軽減が図れた。

## □ 取組の効果

- ・ 補助金対象者が所有する山林でナラ枯れした木が倒木する前に対策することができ、近隣住民の安全を確保することにつながった。



（作業前）



（作業中）



（作業後）

## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：41,145千円	②私有林人工林面積（※1）：19ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：354,571人	⑤林業就業者数（※2）：7人

▶ 川越市では令和2年度頃からナラ枯れ木が確認され、令和3年度から数十本単位でナラ枯れした枯損木があり、令和5年度も増え続けていることから対策としてナラ枯れ木の伐採を実施した。

## □ 事業内容

### ナラ枯れ木の伐採

- ・カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害を受けたナラ類の木を伐採し、散策路を利用する利用者の安全を確保するとともに、ナラ枯れの拡大を抑止する。

【事業費】 7,818千円（うち譲与税5,000千円）

【実績】 ナラ枯れ木（枯損木）伐採 46本

## □ 取組の背景

- ・ナラ枯れ被害が発生している箇所は、（仮称）川越市森林公園計画地内にある樹林地であり、樹林地内は散策路として暫定開放している。ナラ枯れ木が倒木すると、散策路を利用している利用者の安全を脅かすことになることから、ナラ枯れ対策を実施する必要がある。

## □ 工夫・留意した点

- ・環境団体などのボランティア団体からナラ枯れ木の位置情報やナラ枯れ状況について報告を受け、ナラ枯れ木の早期発見により、有事になる前に対応を図ることが出来ている。
- ・対象地は、（仮称）川越市森林公園計画地内で、森のさんぽ道として散策ができるように暫定開放しており、そのことから、利用者の安全を確保しながら施工する必要があり、事前の周知や誘導に留意し作業を行った。

## □ 取組の効果

- ・ナラ枯れ木が倒木する前に対応をとることができ、散策路を利用する利用者の安全を確保することにつながっている。



（作業前）



（作業中）



（作業後）

## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：41,145千円	②私有林人工林面積（※1）：19ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：354,571人	⑤林業就業者数（※2）：7人

-2- ※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- ▶ 令和2年度に、管理緑地内でナラ枯れの被害が確認された。
- ▶ ナラ枯れ被害は年々拡大し、枯死木の倒木等による住宅及びインフラへの被害が懸念されたことから、森林環境譲与税を活用し、被害木の伐採処理を実施した。

## □ 事業内容

### ナラ枯木伐採処理業務委託

- ・みどり自然課が管理を行う森林において、ナラ枯れ被害木を伐採し、切り株にカシナガブロック塗布を行った。

【事業費】73,491千円（うち譲与税52,690千円）

【実績】ナラ枯れ被害木の伐採処理 614本

## □ 取組の背景

- ・令和2年度に初めて市管理地においてナラ枯れ被害が確認され、被害が年々拡大していった。
- ・ナラ枯れの被害発生から数年経過し、倒木や落枝の件数も増加傾向であった。
- ・令和5年10月に埼玉県森づくり課より、森林法第2条第1項に規定する森林におけるナラ枯れ被害対策として森林環境譲与税が活用できる旨の通知があった。



（ナラ枯れ伐採後の様子）



（伐採後のカシナガブロックの塗布）

## □ 工夫・留意した点

- ・埼玉県の定めた「埼玉県におけるナラ枯れ被害対策に関する方針」では、「枯死木の倒木・落枝による人的被害やインフラ・家屋等への被害の防止を最優先」とするとされており、それに基づき、家屋・道路等から約30m以内のナラ枯れ被害木の伐採を行った。

## □ 取組の効果

- ・みどり自然課が管理する森林内及び付近の道路や家屋等において、倒木等による被害を防止でき、散策路を通行する利用者や近隣住民の安全を確保することに繋がっている。

## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：39,593千円	②私有林人工林面積（※1）：17ha	
③林野率（※1）：8.2%	④人口（※2）：342,464人	⑤林業就業者数（※2）：15人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 令和2年度に、管理緑地内でナラ枯れの被害が確認された。
- 民有地においてもナラ枯れの被害が年々拡大し、倒木等による住宅、インフラなどへの被害抑制に取り組むため、被害木の伐採経費を補助することとした。

### □ 事業内容

#### ナラ枯れ被害木等伐採及び植樹補助事業

- 道路等又は建築物から30m以内に存し、道路等又は人が日常的に利用する建築物に被害を及ぼす危険性が高い枯死木の伐採と植樹の費用を補助する。
- 補助金の額は、伐採に係る経費の1/2（限度額20万円/本）、植樹に係る経費の10/10（限度額5,000円/本）

【事業費】 5,273千円（うち譲与税5,013千円）  
（譲与税は、伐採に係る補助のみに充当）

【実績】 申請数 10件 伐採本数 60本

### □ 取組の背景

- 令和2年度に初めて市管理地においてナラ枯れ被害が確認され、同様に民有地においても被害が年々拡大していった。
- ナラ枯れ被害木は大径木であることが多く、処理費用の負担も大きく所有者が伐採できない場合に、散策者や近隣住民の生命、財産に影響が及ぶことが想定されたため、補助金制度を創設した。

### □ 工夫・留意した点

- 補助金を広く活用してもらうため、道路部門等とも連携し、被害が確認された森林の所有者へ直接通知を送付するなどして、情報の周知に努めた。
- 伐採本数分の植樹を行うことを条件とすることで、樹林としての景観や機能の維持を目指した。

### □ 取組の効果

- 補助金を制度化し、併せて個別の周知等を行ったことで、森林の所有者が早期に危険木の伐採を行う一助となり、散策者や家屋等への倒木などの被害を防止できている。



（ナラ枯れ木）



（幹折れしたナラ枯れ木）

### ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：39,593千円	②私有林人工林面積（※1）：17ha	
③林野率（※1）：8.2%	④人口（※2）：342,464人	⑤林業就業者数（※2）：15人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- ▶ 飯能市では、生育した森林による日照の阻害又は倒木の危険性を除去し、森林地域における市民の生活環境の改善に資するため、伐採を行う者に対し、平成30年度から補助金を交付している。
- ▶ 森林環境譲与税について、森林整備に係る補助金として活用しており、補助金を申請する希望者も多数いることから、令和7年度も引き続き実施する予定である。

## □ 事業内容

### 生活対策森林伐採事業補助金交付の実施

#### 【補助対象】

補助対象は、道路又は人が日常的に利用する建築物の日照又は安全に悪影響を及ぼしていると認められる樹木について、伐採を行う者が業者と当該伐採に係る契約を締結して行う伐採事業とする。

#### 【補助範囲と補助率】 ※補助金額は上限あり

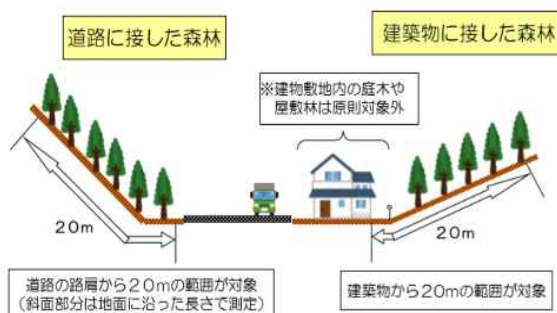
- ・ 道路の路肩から20m以内…事業実施額の3分の2
- ・ 建築物から20m以内…事業実施額の3分の1

#### 【補助金額】 7,713千円

#### 【実績】 実施本数838本

## □ 取組の効果

成長した樹木の伐採費用を補助することで、費用面から容易に伐採が出来なかった場所において生活環境の改善や事故の未然防止につながっている。



## □ 事業スキーム



## □ 工夫・留意した点

- ・ 申請時及び作業完了時には、申請及び実績内容が適正であるか現地確認を行っている。
- ・ 問合せ等で伐採の相談があった際に、補助金対象であれば積極的に補助金を案内するようにしている。

## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額	81,982千円
②私有林人工林面積（※1）	10,598ha
③林野率（※2）	75.3%
④人口（※3）	80,361人
⑤林業就業者数（※4）	51人

※1、2：「2020農林業センサス」から ※3、4：「R2年国勢調査」から

担当者連絡先：森林づくり課森林管理担当 長谷川裕子  
（電話番号）042-978-5061 （メール）norin2@city.hanno.lg.jp

- 入間市(青少年活動センター)では、被害が拡大しているカシナガ被害木の伐採及び枝おろしを行っている。
- 令和6年度は、以下の取り組みを実施。
  - ・危険木伐採業務委託
- 令和7年度も継続して実施していく。

## □ 事業内容

### 1 (事業内容題名)

- ・ 青少年活動センター敷地内のナラ枯れによる枯損木の伐倒及び枝おろしを行う。

【事業費】 3,476千円(全額譲与税)

【実績】 被害面積24a、実損面積7a、被害材積26m<sup>3</sup>  
伐倒及び枝おろし43本

## □ 取組の背景

- ・ ナラ枯れ被害が拡大しており、枯損木の倒木等の危険性が高まっている。危険木の伐採等を計画的かつ適正に行っていく必要がある。



## □ 工夫・留意した点

- ・ 令和6年度は、埼玉県の対応基準に沿って、伐採等の処理をした枯損木を森林利用に支障のない場所に危険のないように残置することで、処分費用の軽減と伐採及び枝おろしの促進を図り、事業費の有効利用につなげた。

## □ 取組の効果

- ・ 青少年活動センター敷地内の森林について、安心して利用できる環境の整備につなげることができた。

## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額	16,658千円
②私有林人工林面積(※1)	85ha
③林野率(※1)	15.1%
④人口(※2)	145,651人
⑤林業就業者数(※2)	9人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 鶴ヶ島市では、樹林地の保全対策の一つとして、平成11年度より都市緑地法の市民緑地制度を活用した「市民の森」を開設している。市が土地の所有者から樹林地を借用し、残された緑を守るとともに、市民が自由に散策できる憩いの場となるよう、市民緑地契約に基づき、草刈りや樹木管理等の整備を行っている。

## □ 事業内容

### 市民の森整備事業

- ・市民の森外4地内の草刈り、間伐及び剪定を実施。

【事業費】11,704千円（うち譲与税7,044千円）

【実績】草刈り×年2回（6.23ha）、間伐及び剪定（0.16ha）を実施した。

## □ 取組の背景

- ・樹林地の保全対策の一つとして市民の森を開設しているが、市民が安全かつ快適に利用してもらうため、散策路周辺の下草刈り、樹木の間伐や剪定等の管理を業務委託し、整備を行っている。

## □ 工夫・留意した点

- ・草刈業務においては、市民の森の全面積のうち、必要な部分の草刈り面積にとどめた。
- ・間伐及び剪定業務においては、隣接する企業の敷地等への越境や倒木の危険を考慮し、計画的に実行場所を定めて実施した。

## □ 取組の効果

- ・草が鬱蒼としていた散策路周辺が歩きやすくなる等、市民の快適な利用に繋がられた。
- ・枯葉や枯れ枝などによる、隣接する企業の敷地への被害を抑えることができた。



（作業前）



（作業後）

※市民の森草刈り

## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：8,114千円	②私有林人工林面積（※1）：15ha	
③林野率（※1）：4.0%	④人口（※2）：69,942人	⑤林業就業者数（※2）：3人

- 日高市は、埼玉県南西部地域に位置し、秩父山地の外縁部にあたる。森林面積は1,119haであり総面積の約24%を占めている。近年、森林を木材生産だけでなく散策やレクリエーション活動の場として利用したいなど市民の要望はこれまで以上に多様化しており、適切な森林整備が求められていることから、計画的な整備を推進していくことが重要である。
- このため、森林所有者の意向を把握するとともに、今後の森林整備において、木材生産機能及び水源涵養機能の維持発揮だけでなく保健・レクリエーション機能の維持発揮が図れるよう森林整備を実施していく。

## □ 事業内容

### ふるさとの森第2号地（高指山）の間伐

- ・ ふるさとの森第2号地（高指山）の山頂広場周辺の眺望と景観の改善のため、間伐を実施した。

【事業費】1,728千円（うち譲与税1,728千円）

【実績】間伐面積 0.33ha（間伐率30%）

## □ 取組の背景

- ・ 近年、山頂広場周辺の森林は樹高が高いため、景観を損ねていた。
- ・ 周辺森林の手入れが滞っているため、下草が繁茂している状態だった。



（間伐前）



（間伐後）

## □ 工夫・留意した点

- ・ ハイキングコース周辺の伐採時には、作業予告の掲示で周辺への注意喚起や立ち入り禁止エリアを設けるなどの安全管理を行った。
- ・ ハイキング道際の木は枝打ち等により眺望を妨げないように手入れを行った。

## □ 取組の効果

- ・ 間伐により、森林の多面的機能の向上が期待される。
- ・ 山頂広場周辺の眺望と景観が改善され、観光客の快適性が向上し、ハイカーの憩いの場として活用される。

## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：9,433千円	②私有林人工林面積（※1）：622ha	
③林野率（※1）：23.8%	④人口（※2）：54,571人	⑤林業就業者数（※2）：3人

- ふじみ野市では、近年開発行為等により緑地の面積が年々減少していることが課題となっている。
- このため、市内にある大井弁天の森はまとまった貴重な緑が残っている区域であり、この豊かな自然を守っていくために、全ての土地を計画的に公有地化し、維持管理を継続して行うことで緑の保全に向けた取組を実施している。

## □ 事業内容

### 大井弁天の森の用地取得・維持管理

【事業費】 56,443千円（うち譲与税9,794千円）  
 （譲与税は、用地取得・剪定等の維持管理に係る部分に充当）

【実績】 用地取得 48,833千円  
 維持管理 7,610千円

## □ 取組の背景

- ・近年、開発行為等により土地の宅地化が進み、緑が減少している。
- ・樹木が乱立しており、保全に向けた環境を整える必要がある。



（用地取得位置図）



（用地取得箇所写真）

## □ 工夫・留意した点

- ・樹木が成長するうえで良好な環境となるように剪定等を行った。
- ・日常的な散歩等の利用者が多いことから、安全に利用できるよう配慮した剪定等を行った。

## □ 取組の効果

- ・用地を取得することで、緑地の保全を行うことができた。
- ・適切な維持管理を行うことで、樹木の健全な成長環境を整えることができた。

## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：9,794千円	②私有林人工林面積（※1）：1ha	
③林野率（※1）：2.2%	④人口（※2）：113,597人	⑤林業就業者数（※2）：1人

- 三芳町には、県と町により所有している緑のトラスト保全第14号地があるが、樹木の老木化などが課題となっている。
- このため、面的伐採を行い、萌芽更新による平地林再生の取組を実施。

## □ 事業内容

### 公有林の萌芽更新の実施（平地林再生事業萌芽更新等業務）

- ・ 緑のトラスト保全第14号地の町有地部分の一部伐採
- ・ 植樹 40本
- ・ 実生苗育成場の造成

【事業費】 3,954千円（うち譲与税3,900千円）

【実績】 伐採面積 1,000㎡ 伐採本数 24本

## □ 取組の背景

・ 荒れ果てていた平地林が、ボランティアの方々の力により管理が行き届くようになり、緑のトラスト保全地にまでなっているところであるが、樹木の老木化等により、ここ数年でナラ枯れの被害木も顕著にみられるようになったことから、一団の面的伐採による平地林の若返りを図ることとなった。



（施工前）



（施工後）

## □ 工夫・留意した点

- ・ 計画地を3分割して1,000㎡ずつを5年ごとに伐採
- ・ 将来の平地林像に則した植樹
- ・ 実生苗からの平地林再生も視野に入れている。

## □ 取組の効果

- ・ 本事業以前に伐採した切り株に陽の光が当たるようになり、沢山の萌芽が確認できた。
- ・ 植樹した多くの苗木より新芽が出ており、上手く根付いていることの確認ができた。

## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：4,331千円	②私有林人工林面積（※1）：5ha	
③林野率（※1）：9.0%	④人口（※2）：38,434人	⑤林業就業者数（※2）：0人

- 毛呂山町では、手入れ不足の人工林が増え、森林整備が遅れていることから、森林環境贈与税を財源として、森林経営管理制度に基づく、間伐等を進めていく方針。
- 令和4年度に、森林経営管理法に基づく森林所有者意向調査の予備調査を実施、令和5年度、6年度の2年間で意向調査を行い令和7年度より森林整備を進める。

## □ 事業内容

### 森林所有者意向調査業務委託

- ・ 計画準備
- ・ アンケート案の作成
- ・ アンケート調査
- ・ 調査集計
- ・ 調査とりまとめ
- ・ データインストール

【事業費】 2,453千円（うち譲与税2,453千円）

（譲与税は、業務委託の全部に充当）

【実績】 調査報告書 1部

## □ 取組の背景

- ・ 毛呂山町では、手入れ不足の人工林が増え、森林整備が遅れていることから、森林環境贈与税を財源として、森林経営管理制度に基づく、間伐等を進めていくために必要な調査をおこなった。

## □ 工夫・留意した点

- ・ 令和4年度に実施した予備調査の成果を基に令和5年度は全18地区の内10地区、令和6年度は8地区を対象として森林所有者意向調査を行った。
- ・ 2か年に分けることで1年度当たりのまとめ期間を短縮し、地権者からの回答期間を長く設け回収率の向上を図った。

## □ 取組の効果

町内全体の意向調査が完了し、森林整備方向性を検討し森林整備を進める。

## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：7,140千円	②私有林人工林面積（※1）：960ha	
③林野率（※1）：42.3%	④人口（※2）：35,366人	⑤林業就業者数（※2）：5人

- 町が管理する林道において倒木や土砂堆積の撤去を行い適正に管理を行い通行の安全を確保する。
- 林道の維持管理を行う事で森林整備、保全活動が円滑に行えるよう継続して進める。

## □ 事業内容

### 林道維持管理業務委託

- ・倒木及び土砂撤去 3箇所

#### 【事業費】

342,800円（内譲与税額 342,800円）

#### 【実績】

- ・倒木及び土砂撤去 1箇所
- ・土砂撤去 1箇所
- ・倒木撤去 1箇所

## □ 取組の背景

毛呂山町では、手入れ不足の人工林が増え、森林整備が遅れていることから、豪雨等により小規模な土砂崩れや林道沿いの枯木による倒木等が生じるようになった。これに対して林道の通行に支障が生じないよう重機を活用した撤去を森林環境税を活用し行った。

## □ 工夫・留意した点

- ・土砂については林道用地内で処分することで費用の圧縮に努めた。

## □ 取組の効果

林道の維持管理を適正に行うことで、森林内へのアクセスが向上し、森林管理や保全活動が円滑に行えるようになり、適切な間伐や造林が促進され、森林の健全性が保たれる。また、安全な通行が確保されることでハイカー等の観光客にとっても、自然環境を楽しむ機会の増加期待される。



## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：7,140千円	②私有林人工林面積（※1）：960ha	
③林野率（※1）：42.3%	④人口（※2）：35,366人	⑤林業就業者数（※2）：5人

- 朝霞市では、森林環境譲与税を主に森林整備に充てていく方針。
- 令和5年度は、木材を利用した中学校の改修工事や博物館で開催されるイベントでの木材の普及啓発などを実施
- 令和6年度については、ナラ枯れによる樹木伐採事業を実施した。
- 令和7年度においても引き続き、ナラ枯れによる樹木伐採事業に活用する予定。

## □ 事業内容

### 公園管理事業

#### 城山公園の枯損木伐採

【事業費】31,350千円（うち譲与税15,822千円）

【実績】伐倒処理・根株被覆くん蒸・破碎処理  
53.44m<sup>3</sup>（42本）



↑  
事業実施前  
↓



↑  
事業実施後  
↓



## □ 取組の背景

- ・令和4年度から一部閉鎖していた城山公園の全面再開に向け、都市公園等樹木定期点検を実施した結果、樹木の枯損が進んでいたことから、点検結果に基づき必要な樹木伐採を実施。

## □ 取組の効果

- ・定期点検や伐採工事を実施し、適正な樹木管理をしたことで、利用者の安全を確保しつつ、全面開園を早期に行うことができました。

## ◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：15,822千円	②私有林人工林面積（※1）：0ha	
③林野率（※1）：1.6%	④人口（※2）： 141,083人	⑤林業就業者数（※2）：0人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- ふれあいの森整備事業は、武蔵野の雑木林を守り、次世代の子供達に引継ぐための事業であり、6箇所がふれあいの森として認定されており、奨励金の交付、整備及び維持管理を行う事業である。
- ふれあいの森（2015）管理業務として、令和5年度から令和6年度にかけて、現地調査、被害木駆除を進めた。

## □ 事業内容

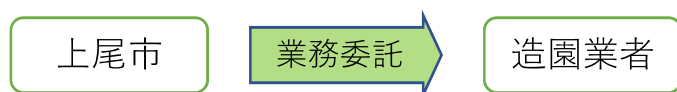
### ふれあいの森（2015）管理業務

- ・ ナラ枯れ被害が発生しているふれあいの森2015において、枯れ木の伐採を実施する。
- 【事業費】7,122千円(うち譲与税5,899千円)
- 【実績】実施材積 28.34m<sup>3</sup>

## □ 取組の背景

- ・ 上尾市「ふれあいの森2015」で令和5年度にナラ枯れ被害を確認。
- ・ 令和5年度及び令和6年度に被害木調査を実施。  
被害木 28本
- ・ 令和6年度に、ナラ枯れ被害対策として、被害木の伐採処理（根株くん蒸）を実施。  
実施材積 28.34m<sup>3</sup>

## □ 事業スキーム



## □ 工夫・留意した点

- ・ 緑の葉が茂っている時期には、ナラ枯れによる枯れが遠目から目立ち、12月頃になると太い枝の落枝も見られたため、早急な対応が求められた。
- ・ 倒木の危険性があるため、道路や民地に近い被害木から伐採伐採を始めた。

## □ 取組の効果

- ・ 倒木の恐れがある被害木を伐採したことで、ふれあいの森2015の利用者や、近隣住民の方の安全を確保することができた。

## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：25,837千円	②私有林人工林面積（※1）：4ha	
③林野率（※1）：3.0%	④人口（※2）：226,940人	⑤林業就業者数（※2）：4人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 新座市では、近年、とりわけ管理緑地内でカシノナガキクイムシによる枯れ木被害が拡大しているため、森林環境譲与税を活用して拡大防止を図る方針。
- 令和2年度は、管理緑地の被害調査を市職員で行った。
- 令和3年度及び5年度においては、一部の管理緑地内の被害木の伐採及びくん蒸処理を実施した。
- 令和4年度及び6年度においては、一部の管理緑地内の被害木の伐採を実施した。
- 令和7年度においても、引き続き森林病虫害対策を進めていくこととしている。

### □ 事業内容

市内管理緑地におけるカシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害拡大防止を図るもの。

#### 西堀二丁目憩いの森ほか1か所森林病虫害防除対策業務委託

【事業費】5,976千円（うち譲与税5,000千円）

【実績】市内管理緑地2か所（伐倒19本）

#### 野火止緑地総合公園（こもれび）ほか1か所森林病虫害防除対策業務委託

【事業費】10,230千円（うち譲与税10,000千円）

【実績】市内管理公園2か所（伐倒61本）

#### 合計

【事業費】16,206千円（うち譲与税15,000千円）

【実績】市内管理緑地・公園4か所（伐倒80本）

### □ 取組の背景

市民の皆様にもどりを親しんでいただけるよう、市の管理緑地・公園を管理しているところであるが、一部の憩いの森と公園でナラ枯れが発生した。

安全面の観点からナラ枯れ伐採を行い、市民の皆様にも安全に利用していただけるよう、市管理緑地及び公園を管理していきたいと考えている。

### □ 工夫・留意した点

- ・ナラ枯れ箇所に園路及び施設が近い場所は入念に調査を行い、被害が見受けられるものについては伐採を行った。
- ・実施時期について、比較的カシノナガキクイムシが穿孔して樹木内に留まっている時期を踏まえ執り行い、伐採木は破砕処理を行った。

### □ 取組の効果

維持管理していただいているボランティア団体の活動があるが、ナラ枯れ伐採後は安全に緑地内に入ることができるようになった。そのため、下草刈り等の作業を安心して進められることとなり、緑地の管理が推進できた。

このように、ナラ枯れ伐採後は緑地の整備が推進され、市民の皆様にも安全に立入りも可能となったことで、より一層利用しやすい環境が整った。



(カシノナガキクイムシによる被害木)



(伐倒後)



(カシノナガキクイムシによる穿孔道) ※伐倒後

### ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：19,191千円	②私有林人工林面積（※1）：4ha
③林野率（※1）：4.7%	④人口（※2）：166,017人
	⑤林業就業者数（※2）：4人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- ▶ 市内管理緑地内における高木化・老木化した樹木の伐採を行い、萌芽更新による樹木の若返りを促し、良好な緑地環境の維持及び雑木林の永続的な管理を図る。
- ▶ 令和6年度において、一部の管理緑地内の高老木化した樹木の伐採を実施した。
- ▶ 令和7年度においては、予算化できなかったため実施しない。

### □ 事業内容

市内管理緑地における高老木化した樹木の伐採を行い、萌芽更新を図るもの。

#### 片山緑地ほか1か所萌芽更新業務委託

【事業費】10,381千円（うち譲与税5,000千円）

【実績】市内管理緑地2か所（伐倒29本）

### □ 取組の背景

市民の皆様にみどりを親しんでいただけるよう、市の管理緑地・公園を管理しているところであるが、一部の緑地と公園では長い年月を経て樹木が高老木化し、倒木や落枝の危険性が高まっている。

今後の維持管理や安全面の観点から、高木化を抑え、萌芽更新のための樹木の伐採を行い、永続的な管理を図っていきたいと考えている。

### □ 工夫・留意した点

- ・事前に入念に調査を行い、園路沿いや高老木化が著しい樹木をメインに伐採を行った。
- ・伐採に際し、切り株からの萌芽更新を促すため、できるだけ地際の高さで伐採するとともに、切り株の表面に雨水等が溜まらないように切り口を斜めに伐採するよう留意した。

### □ 取組の効果

以前から、高老木化による伐採要望を近隣住民から受けていた緑地で実施したため、伐採後は、「安心した」・「明るくなって歩きやすくなった」等の声をいただいた。  
また、伐採することで倒木や落枝を未然に防ぎ、利用者の安全の確保につながった。  
このように、萌芽更新業務委託によって、緑地の整備が推進され、市民の皆様がより一層利用しやすい環境が整った。



伐採前



伐採後



伐採後の切り株

### ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：19,191千円	②私有林人工林面積（※1）：4ha	
③林野率（※1）：4.7%	④人口（※2）：166,017人	⑤林業就業者数（※2）：4人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 秩父地域では、ナラ枯れ被害の発生や放置竹林等が課題。
- このため、秩父地域森林林業活性化協議会で地域の放置竹林の整備等の里山整備に対して支援を開始。

## □ 事業内容

### 里山整備への支援（補助率：定額（実行経費と比較して安い方））

- ・ 竹林整備（補助単価：竹の太さ、傾斜、密度により区分）
- ・ 枯損木等処理（補助単価：幹周長により区分）
- ・ 笹等刈払（補助単価：515,000円/ha）

【事業費】6,922千円（うち譲与税6,922千円）

（譲与税は、委託費に係る部分に充当）

【実績】5件、竹林整備：0.79ha、枯損木等処理：199本

## □ 取組の背景

- ・ 埼玉県で実施していた里山平地林整備事業が令和5年度で終了し、市町村に対して里山整備の役割が求められた。
- ・ 秩父地域においても近年ナラ枯れが発生し被害が拡大している状況があるほか、放置竹林も見られる状況。
- ・ このため、引き続き里山整備に対して支援する必要があると判断した。

## □ 工夫・留意した点

- ・ 埼玉県で実施していた里山平地林整備事業の内容を参考に制度設計した

## □ 取組の効果

- ・ 継続して地域の中で里山整備の実施が可能となった。
- ・ 健全な里山の維持、景観保持、多面的機能の発揮



（竹林整備）



（枯損木処理）



（HP「森の活人」）

<https://morinokatsujin.com/purpose/efforts/efforts09/>

## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：101,524千円	②私有林人工林面積（※1）：10,738ha
③林野率（※1）：86%	④人口（※2）：59,674人
	⑤林業就業者数（※2）：126人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 町道、林道等のインフラ施設周辺の森林を整備することにより、台風や大雪等の自然災害が発生した際に、倒木によるインフラ設備への被害を防ぎ、防災対策の向上を図ることを目的とする。
- 実施場所をリストアップし、伐採等を実施し、森林整備につなげる。

## □ 事業内容

### 1 インフラ施設周辺の森林整備

- ・ 林道奈良尾線
- ・ 町道金沢1号線

【事業費】4,911千円（全額譲与税）

【実績】林道奈良尾線 約0.01ha  
町道金沢1号線 約0.02ha

## □ 取組の背景

- ・ 地域住民から倒木等の危険性により道路使用に支障をきたす恐れがあるなど要望があった。
- ・ 関係課からも同様に町道などのインフラ施設周辺の森林について情報共有・相談を行っていた。
- ・ 今回地域住民からも要望があった地区を重点的に実施することと



（事業実施前）



（事業実施後）

## □ 工夫・留意した点

- ・ 事業実施にあたり、関係他課との打ち合わせを実施し、候補地の選定を行った。
- ・ リストアップされた実施箇所が数か所あるため、数年で計画を立て、森林整備を行う。

## □ 取組の効果

- ・ 防災面の強化
- ・ 通行の支障改善
- ・ 倒木等の被害防止

## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：10,824千円	②私有林人工林面積（※1）：1,955ha	
③林野率（※1）：71.7%	④人口（※2）：9,302人	⑤林業就業者数（※2）：6人

- ▶ 小鹿野町では、秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町1市4町で構成する秩父地域森林林業活性化協議会を通じて、森林経営管理制度に基づく取り組みを進め森林整備を推進しています。
- ▶ 令和6年度では、森林整備を行ううえで、町の森林資源量及び森林評価を行いました。また、小鹿野町下小鹿野地区を森林の境界および所有者を明確化することを目的とし、紙媒体の公図のデジタル化を行い、森林境界保全図素図を作成し、森林境界明確化に資するデータを委託業務を発注しました。

□ 事業内容

1 森林境界保全素図の作成

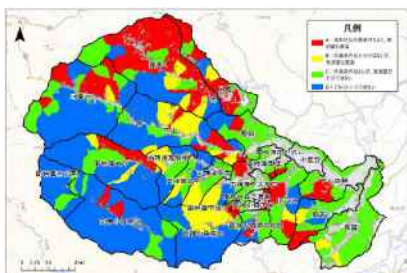
- ・町全体森林資源量調査及び森林評価を行いました。また、下小鹿野地区において、森林を対象に森林境界保全素図の整備委託業務を行いました。

【事業費】 7, 700千円（うち譲与税7, 700千円）

【実績】 町全体の森林評価及び下小鹿野地区約245haの森林境界保全素図の整備を行うことができました。

□ 取組の背景

- ・小鹿野町が推進する森林境界明確化事業について、事業を行う地区の優先度を森林の地形的要件、採算性等の観点から評価し、境界明確化事業を効率的・効果的に実施するための地域区分を整理しました。また、近年森林の所有者が不明確となっているため、航空写真などをもとに森林境界素図の作成を行いました。



（小鹿野町全体の森林評価（案））



森林境界保全素図（下小鹿野地区）

□ 工夫・留意した点

- ・リモートセンシングデータを活用し、重ね合わせを行うことで、より細かな境界素図が作成することができました。公図等がない地域については、森林基本図を基に小班界データを編集し、森林境界保全図として入力しました。
- ・留意した点は、境界は所有者界ではなく、筆界で編集を行いました。森林評価については、地域性や地形などの条件を取り入れ、林業事業者からのヒアリングにより作成を評価をしました。

□ 取組の効果

- ・本業務により境界明確化事業の素図を作成により、森林整備を行う際の資料として取り扱うことが出来るようになりました。今後森林管理制度用いながら、森林整備の促進を図りたいと考えております。また、地籍調査未実施地域となっていることから本業務成果を地籍調査基礎資料へと繋がられたらと考えております。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額	38,014千円
②私有林人工林面積（※1）	5287ha
③林野率（※1）	82.6%
④人口（※2）	10,928人
⑤林業就業者数（※2）	28人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- ▶ 東松山市では、森林環境譲与税を中長期的な視点で計画的に使用するため、東松山市森林環境基金を設置している。譲与税の用途については、基金活用検討委員会を設置し全庁的な協議の場を設け、効果的かつ適正な執行が行える体制を整備している。
- ▶ 令和6年度においては、緑地指定されている私有林等の森林整備を実施した。

## □ 事業内容

### 1 R6 柏崎緑地伐採業務

東松山市大字柏崎地内

【事業費】484,000円

【実績】伐採2本

### 2 R6 折本山緑地伐採業務

東松山市大字正代地内

【事業費】489,500円

【実績】伐採3本

## □ 取組の背景

- ・市内2箇所の斜面緑地について、保全のために高木の伐採や下草刈り等の整備が必要となった。

## □ 工夫・留意した点

- ・伐採する高木について、間隔を考慮し数本を選定した。

## □ 取組の効果

- ・緑地の保全整備により、景観が良くなり多くの市民の憩いの場を提供できた。

柏崎緑地



折本山緑地



## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：11,284千円	②私有林人工林面積（※1）：52ha	
③林野率（※1）：6.1%	④人口（※2）：91,791人	⑤林業就業者数（※2）：6人

- ▶ 深谷市では、自然とのふれあいを通じて自然との共生に関する理解の向上及び市民の健康増進に資するために整備された、鐘撞堂山ふるさとの森の適正な維持管理や整備を行うため、登山道等の修繕や下草刈りの業務などに活用し、ふるさとの森環境整備を推進していく方針。
- ▶ 令和6年度においては、下草刈り業務や舗裝修繕を実施した。
  - ・ 鐘撞堂山ふるさとの森の登山道等の笹刈り及び除草作業を民間事業へ委託した。
  - ・ 鐘撞堂山ふるさとの森の駐車場へ至る進入路について、舗裝修繕を行った

□ 事業内容

1 森林整備（下草刈り等）

- ・ 鐘撞堂山ふるさとの森の登山道等（南コース）の笹刈り及び駐車場周辺部の除草作業を民間事業者へ委託した。

【事業費】 1,059千円（うち譲与税1,059千円）

【実績】 笹類の伐開等（A=1.60ha）

2 森林整備（駐車場進入路の舗裝修繕）

- ・ 鐘撞堂山ふるさとの森の駐車場へ至る進入路（未舗装・轍部分）について、舗裝修繕を行った。

【事業費】 1,188千円（うち譲与税1,188千円）

【実績】 未舗装区間の舗装（L=38.5m、W=2.5m）

□ 取組の背景

- ・ 鐘撞堂山ふるさとの森の適正な維持管理
- ・ 鐘撞堂山ふるさとの森環境整備の推進

□ 工夫・留意した点

- ・ 1の事業の下草や笹類の伐開にあたっては、林床保護の観点から、経路整備など必要最低限の範囲として伐開を実施する方針とした。

□ 取組の効果

- ・ 森林の有する公益的機能の発揮につながった。



（事業1：駐車場の除草状況）



（事業2：進入路の舗装状況）

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：17,453千円	②私有林人工林面積（※1）：28ha	
③林野率（※1）：2.4%	④人口（※2）：141,268人	⑤林業就業者数（※2）：8人

- 滑川町にある伊古の里は、二ノ宮山の展望塔と隣接しており多くの人を訪れる場所となっているが、周辺は森林が多く整備が行き届かず、草木や篠が繁茂する状態となっている。また、里から展望塔までの散策路についても、草木が多く荒れてきている状況が見受けられる。
- このため、令和6年度に散策路周辺の整備を行い、その後桜の植樹を実施。

## □ 事業内容

### 伊古の里建設推進事業

- ・ 伊古の里周辺の草木の伐採及び搬出。

【事業費】 3,927千円（全額譲与税）

【実績】 整備面積 0.36ha

## □ 取組の背景

- ・ 里周辺の草木や篠の繁茂により散策路の使用頻度が少なかった。
- ・ 雑木の伐採が予算の確保が難しく行えていなかった。

## □ 工夫・留意した点

- ・ 二ノ宮山山頂の展望塔が見えるよう高木を全て伐採。
- ・ 以前植樹した桜を残し、桜の名所にできるよう追加で植樹を実施。
- ・ 既設の散策路に追加で休憩スペースを作るよう、平場を設置。

## □ 取組の効果

- ・ 荒れていた散策路周辺が整備され、景観が格段に良くなった。
- ・ 例年の維持管理だけでは、草木や篠の対応が追い付かなかったが、今回の整備を行うことにより、今後の維持管理負担が軽減された。



（着工前）



（着工後）

## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：3,979千円	②私有林人工林面積（※1）：147ha
③林野率（※1）：26.7%	④人口（※2）： 19,732人
	⑤林業就業者数（※2）：5人

- 嵐山町では、枝が町道に侵入し、大風で倒木しそうな樹木が課題となっている。
- このため、風倒被害防止の取組を実施。

□ 事業内容

風倒被害防止事業

- ・ 枝が町道に侵入し、大風で倒木しそうな樹木の伐採。

【事業費】 1,489千円（うち譲与税1,489千円）

【実績】 危険木伐採 1,500㎡（鎌形地区）  
8本（杉山地区）

□ 取組の背景

- ・ 危険木を伐採する必要がある。



鎌形地区風倒被害予防業務委託



杉山地区風倒被害予防業務委託

□ 工夫・留意した点

- ・ 危険木の選定。

□ 取組の効果

- ・ 枝が町道に侵入し、大風で倒木しそうな樹木を取り除くことができた。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：2,887千円	②私有林人工林面積（※1）：157ha	
③林野率（※1）：30.6%	④人口（※2）：17,889人	⑤林業就業者数（※2）：1人

- 小川町では、令和4年度から小規模林業体が行う比較的小規模な森林整備に対し、町独自で支援を開始。
- 令和6年度は、以下の取組を実施し、森林整備を促進することができた。
  - ・ 間伐等による木材の集材及び搬出等に必要な森林作業道を200m開設することができた。
  - ・ 施業の効率化を図ることを目的に小型林業機械をレンタルする経費に対して補助をした。

## □ 事業内容

### 除間伐等の森林整備への支援（小川町小規模林業体支援事業補助金）

- ①小規模林業体が行う除間伐や作業道開設等の森林整備に対して補助をするもの。
- ②施業の効率化を図るため、林業現場で活用する小型林業機械をリース・レンタルする経費に対して補助をするもの。

【事業費】 300千円（全額譲与税を充当）150千円×2団体

【実績】 森林作業道開設200m 100m×2箇所

## □ 取組の背景

・ 荒廃していく山林を整備していくために、自伐型林業者（小規模林業者）が活動を始める中、森林環境譲与税を活用し、補助金等で活動の支援ができないか検討していた。

## □ 工夫・留意した点

- ・ 国庫補助の対象とならない小規模な間伐等、既存の補助事業の対象とならない森林整備に対応できるように、支援対象を設定した。

## □ 取組の効果

- ・ 2団体から補助申請があり、左記のとおり各団体作業道開設各100m実施済。今後の森林整備への活用に期待。



（作業前）



（作業後）

## ◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：15,188千円	②私有林人工林面積（※1）：1,656ha	
③林野率（※1）：53.8%	④人口（※2）：28,536人	⑤林業就業者数（※2）：1人

- 東秩父村では、山林が面積の約75%を占め、森林の公益的機能を享受できる一方、適切な管理が行われないと、自然災害防止機能等が低下し、土砂災害などの発生が懸念される。
- 令和元年度より住民に対し森林経営管理に関する意向調査を行い、森林の状態や問題点を可視化（データ化）する取組を実施

## □ 事業内容

### 森林の経営管理に関する意向調査業務委託

- ・ 調査情報整理
- ・ 森林所有者への事前説明
- ・ 森林情報収集・意向確認

【事業費】4,019千円（うち譲与税4,019千円）  
（譲与税は、業務委託全般に係る部分に充当）

【実績】4,019千円

## □ 取組の背景

・ 森林経営管理法に基づき村が主体となり森林整備及び管理を進めるにあたり、村内に森林を所有又は管理する者の森林管理等に関する意向を調査することにより、基礎データを整備することを目的とする

## □ 工夫・留意した点

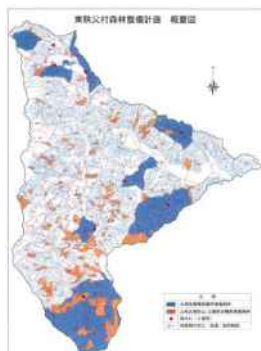
・ 市町村・国・公社を除いた所有形態とした

## □ 取組の効果

・ 自己所有の認識、管理状況、今後の管理の考えについて把握できた

意向調査アンケート結果集計

質問	回答数	割合
森林の経営管理について	128人	79.7%
森林の経営管理について、どのような方法で実施してほしいか	6,9人	5.4%
森林の経営管理について、どのような方法で実施してほしいか	6,9人	5.4%
森林の経営管理について、どのような方法で実施してほしいか	6,9人	5.4%
森林の経営管理について、どのような方法で実施してほしいか	6,9人	5.4%



(意向調査アンケート) (整備計画概要図)

## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：9,412千円	②私有林人工林面積（※1）：2,340ha
③林野率（※1）：79.7%	④人口（※2）：2,709人
	⑤林業就業者数（※2）：3人

➤ 美里町では、町内の林業事業者がごく少数で高齢化が進んでいることに加え、役場内に森林行政に精通した職員がいないことが課題となっている。このため、埼玉県中央部森林組合をアドバイザーにした森林林業行政支援業務委託の取組を実施している。

## □ 事業内容

森林環境の保全や維持等を行うために、森林整備や林道整備計画策定などの業務支援

本年度より姉妹都市である戸田市との植樹イベントでの交流事業における参加者への植樹指導や準備での支援を併せて委託した。

【事業費】 1,903千円（うち譲与税1,903千円）

【実績】 1,903千円

## □ 取組の背景

町内の森林の適正管理や地元産の木材利用を促進するためには、森林事業の専門的な知識が不可欠だが、町内の林業事業者はごく少数で高齢化が進んでいることに加え、役場内に森林事業に精通した職員がいないことが課題になっている。

そのため、専門的知識のある民間事業者（埼玉県中央部森林組合）に森林林業行政支援業務委託を行うこととなった。

また、造林に関して高い知識を有する同組合に姉妹都市交流事業での植栽指導や準備（目立たせるための看板の設置等）に関しても併せて委託した。



（植樹指導の様子）



（植樹後の苗木）



（設置された看板）

## □ 工夫・留意した点

埼玉県中央部森林組合は、県内複数の市町村で森林経営計画を策定していることや森林林業行政支援業務を受託していることから、他市町村の森林整備や公共施設の木質化の優良事例に加え、森林に関する技術面での助言や他市町村の病害虫の情報など事業に必要な事柄の事例収集も円滑になることを想定した。

森林に関する姉妹都市交流のイベントが初めてであるため、安全面に配慮することに加え、苗木が無事に育つようにシカネットを組合に設置してもらうなど、植えて終わりとならないようにした。

## □ 取組の効果

- ・本年度開催の植樹イベントでの植樹指導及び準備の支援
- ・山火事防止のための防火帯の整備箇所の調査
- ・森林整備地での森林レクの企画立案
- ・消防団小屋の木造建設の助言
- ・観光資源としてのハイキングコースの活用にかかる提案
- ・姉妹都市交流のイベントでの植栽指導を無事完了
- ・4,600本の広葉樹の植栽を完遂

## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：2,571千円	②私有林人工林面積（※1）：259ha	
③林野率（※1）：22.7%	④人口（※2）：11,039人	⑤林業就業者数（※2）：1人

- 神川町では、里山における私有林の森林整備が課題となっている。
- このため、森林組合と協力し、里山放置林・公道沿線森林の森林整備の取組を実施。

## □ 事業内容

### ○森林整備事業

- 沿線森林整備。

町内の道路等の沿線における眺望環境の回復、通行の安全の確保及び災害防止のため、風倒木、危険木及び枯損木の伐採並びに伐採木の搬出を行う。

- 里山放置竹林等整備。

公共施設等周辺の災害防止又は景観の向上等森林の有する公益的機能の高度発揮を図るため、公共施設等周辺に侵入した竹等の除去、林内の枯損木及び不良木の伐採並びに伐採木竹の整理等を行う。

【事業費】 5,940千円（うち譲与税5,940千円）

【実績】 渡瀬地内・矢納地内

除伐笹等刈払 2.02ha



(作業前)

(作業後)

## □ 取組の背景

人家へ向かう道路となっており、降雨降雪等による倒木が発生した場合、交通の寸断や人的被害など多くの支障に対して、対応が求められていた。

## □ 工夫・留意した点

- 神川町内の森林管理を行っている埼玉県中央部森林組合と森林林業行政支援業務委託を行い、森林所有者との調整や林内調査を行った。
- 事前に森林所有者と維持管理等に関する協定を結び、事業後の管理体制を確立した。

## □ 取組の効果

- 里山における景観保全を行うことができた。
- 倒木の危険性を回避することができた。

## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：8,978千円	②私有林人工林面積（※1）：1,268ha	
③林野率（※1）：43.5%	④人口（※2）：13,359人	⑤林業就業者数（※2）：9人

- 寄居町では、令和5年度にナラ枯れ被害が数本確認され、伐採・くん蒸処理することで被害のまん延を防止する必要がある。
- ナラ枯れ被害緊急対策事業を実施し、ナラ枯れ被害対策として伐倒やくん蒸処理などにより森林病害虫を抑制し、健全な森林の育成と林業振興を図る。

## □ 事業内容

### ○ 駆除

カシノナガキイムシの付着により枯死し、又は枯死に瀕している樹木の薬剤によるくん蒸、焼却、破砕、ビニール被覆及び誘引捕殺

### ○ 予防

カシノナガキイムシが付着し、又は付着する恐れのある樹木への粘着剤の塗布等、ビニール被覆及び殺菌剤の樹幹注入

### 【実施内容】

- ・ 伐倒処理
- ・ 伐木被覆くん蒸
- ・ 根株くん蒸

### 【事業費】

5,707千円（うち譲与税1,987千円）

※補助率：3/4以内

### 【実績】

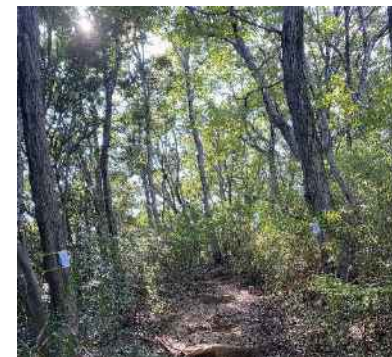
被害木：約230本

面積：0.63ha

材積：93.88m<sup>3</sup>

## □ 留意した点

- ・ 散策路から近い場所で被害木が確認されたため、被害木の周辺にも注意喚起看板を設置した
- ・ 人的被害が発生しないよう、散策路から近い被害木から優先に伐採した



（現地確認写真）

## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：7,335千円	②私有林人工林面積（※1）：775.04ha	
③林野率（※1）：35.9%	④人口（※2）：32,374人	⑤林業就業者数（※2）：6経営体

- ▶ 北本市では、市内緑地に散策路やベンチを整備し、憩いの場としての機能を有している。
- ▶ これらの緑地でナラ枯れ等の被害が確認されたことから対策を実施した。

## □ 事業内容

### ナラ枯れ等対策

- ・ 北本中央緑地雑木林再生工事
- ・ 公園緑地ナラ枯れ対策等業務委託
- ・ 公園緑地クビアカツヤカミキリ対策等業務委託

【事業費】 6,083千円

【実績】 伐採 27本

薬剤散布 13本×2回

## □ 取組の背景

ナラ枯れ等の被害が生じた、北本中央緑地をはじめ市民に開放している緑地は、散策路やイベント会場などに用いられている。利用者の安全確保や被害を受けていない樹木への被害の拡大を防止するため、伐採等の対策を実施した。

## □ 工夫・留意した点

- ・ ナラ枯れの原因となるカシノナガクイムシの活動時期を避ける、伐採木の残置を避け適正処理をするなどの被害拡大措置を行った。
- ・ 被害進行度の深刻な樹木から優先的に伐採するなどして、被害の進捗を抑制する試みを行った。
- ・ 利用者等に周知の上、事業を実施するなど安全に配慮した。
- ・ 指定管理者と適正に協議・連携して事業を実施した。

## □ 取組の効果

- ・ ナラ枯れ等の被害が進行し倒木する前に対応することが出来、利用者の安全の確保が図られた。

（ナラ枯れ樹木 伐採前）



（伐採後）



（防除剤散布）



## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：7,687千円	②私有林人工林面積（※1）：1.00ha	
③林野率（※1）：2.5%	④人口（※2）：65,201人	⑤林業就業者数（※2）：2人

▶ 本市が所有する保全緑地を良好な状態で管理するため、緊急度の高い箇所を優先して間伐等の整備を実施した

## □ 事業内容

【実施箇所】 保全緑地 7箇所

- ・ 東内野前町東保全緑地（10,839.25㎡）
- ・ 神戸東保全緑地（11,467.9㎡）
- ・ 木曾呂斜面林保全緑地（2,791㎡）
- ・ 木曾呂見沼用水沿い斜面林保全緑地（4,632㎡）
- ・ 金崎斜面林保全緑地（16,118.31㎡）
- ・ 東内野前町保全緑地（2,814.53㎡）
- ・ 安行赤堀用水沿い斜面林保全緑地（9,593.61㎡）

【事業費】 13,390千円（うち譲与税 13,000千円）

【実績】 ・ 間伐 721本（うち竹482本）  
 ・ 下草刈り 8,510㎡（1～3回）

## □ 工夫・留意した点

- ・ 間伐等

保全緑地ごとに、樹木健全度や緊急度を勘案し、計画的に実施場所を定め、実施した

- ・ 下草刈り

隣接地への影響等を見極め、必要部分について継続的に実施した



間伐 作業前



間伐 作業後



下草刈り 作業前



下草刈り 作業後

## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：68,313千円	②私有林人工林面積（※1）：0ha	
③林野率（※1）：0.9%	④人口（※2）：594,274人	⑤林業就業者数（※2）：9人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より